

令和7年度 御殿場市議会広報委員会 視察報告書

1 視察日程

令和7年6月2日（月）

2 視察先及び視察事項

(1) 神奈川県箱根町（「議会だより」の充実と広聴活動の充実）

(2) 神奈川県開成町（議会出前講座を含む広聴機能の強化・拡充）

3 参加者

委員長 辻川 公子

副委員長 横山 大

委員 高木 理文

森 順

後藤 真弥

小林 昌美

池谷 晴一

高村 芳章

小林恵美子

勝間田幹也

勝又 正人

事務局 瀬戸 順美

（議会事務局副主幹）

渡邊一二司

（議会事務局副主幹）

4 視察先対応者

(1) 神奈川県箱根町

広報広聴委員会委員長 村野 由紀子様

広報広聴委員会副委員長 折橋 尚道 様 ほか

(2) 神奈川県開成町

開成町議会 議長 山本 研一 様

開成町議会 副議長 星野 洋一 様 ほか

## 5 視察内容

### ■ 「議会だより」の充実と広聴活動の充実 【箱根町役場】

#### 視察目的

「議会だより」の充実と広聴活動の充実のため、広報広聴活動を視察し、今後の当市議会の広報活動に資する

#### 視察先の概要

面積：92.85 km<sup>2</sup> 人口：10,845人 議員定数：14名

神奈川県南西部に位置し、静岡県と隣接。古来より温泉地、宿場町として栄えた国内有数の観光地。

議会は、2常任委員会の他議会運営委員会、特別委員会、広報委員会、議会だよりは年4回発行

#### 視察の内容

箱根町概要・特性、町議会改革（議論する議会・開かれた議会）の状況、議会だよりの編集要領や発行の工程・内容等について、村野由紀子議員をはじめ、町議会広報広聴委員会及び議会事務局の方から説明を受けた。

当初議会だよりの作成は、事務局主体であったが、「手に取って見てもらえる」ことを意識し、議員が責任をもって紙面づくりを行うようになり、ページ数の増加とモニター制の活用等と相まって内容の充実が図られてきたことを認識した。

★「箱根町議会の議会改革の取り組み」として平成25年4月1日より議会基本条例が施行されている。平成29年に一部改正をし、基本条例に基づき ①議論する議会 ②開かれた議会を改革のテーマとして取り組んできた。

★「議会傍聴規則の変更」により、児童、乳幼児同伴の議会傍聴を可能にし、議場での写真撮影や録音の自由化を行った。議会のキッズコーナーや授乳室は議会開催日以外にも開放している。

★議会傍聴の「敷居」を低くする取り組みとしてスマホやタブレット持ち込みの自由化や写真撮影・録音の自由化が行われていたが、撮影、録音されたデータの利活用が実際どのように行われているのかの実例を詳しく知りたかった。

★社会科の授業の一環として、小学校 6 年生による議会傍聴が行われ、町内 3 校が合同で「議会開催日」の傍聴を行っている。小学 6 年生の議会傍聴は議会開催中に行われており、実際の議会の運営状況なども見て、知ることができるため、単なる議場見学とは異なる社会科見学である。

★「箱根町百景めぐり」は議会からの「わがまち愛」の発信でもあったと感じた。また、議員が住民の行事に出向き、取材や撮影に行く「議員活動報告」の紙面づくりも議員が身近に感じられる。

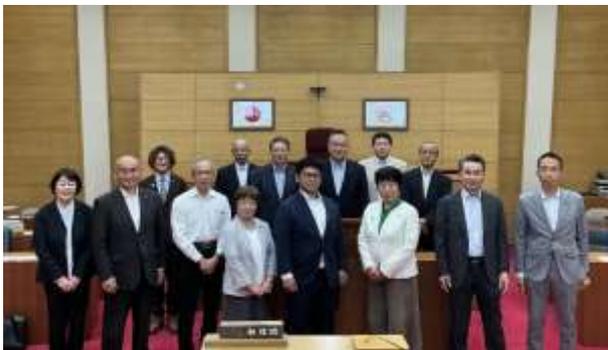
★「議会ポスターによる広報」定例会の日程が決定するとすぐに、ポスターを印刷し、議員も配布作業に参加。掲示場所は町内の出先機関のほか、コンビニエンスストア、ドラッグストア、一般商店、JA、郵便局など多岐にわたり、住民の目に触れやすい場所を活用している。町内の様々な生活圏にポスターを掲出する取り組みは、住民との接点を広げ、情報へのアクセス性を高めている

## 考 察

「議員活動報告」の議会だより紙面は、議員が出かけ、市民活動を取り上げて記事にするので、議会だよりが身近に感じる取り組みであった。

「議会ポスターによる広報」は各議員が自分で決めた公共の場へ一般質問の内容が掲載された A 4 サイズの一覧表を配布し、住民との接点を増やし、情報を広めることで議会への関心を高めていた。

今後は、「委員会のウェブ会議の開催」「議会モニター」「議場へのカメラ・スマホの持ち込み」等、参考としたい。



## (2) ■ 議会出前講座を含む広聴機能強化・拡充 【開成町役場】

### 視察目的

#### 議会出前講座を含む広聴機能の強化・拡充について

### 視察先の概要

面積：6.55 km<sup>2</sup> 人口：18,566人 議員定数：12名

神奈川県西部足柄上地区の中央にあたる平坦地に位置する。面積は県内最小。人口は65年以上増加が続いている。

議会は議会運営委員会、3常任委員会の他2委員会

議会だよりは年4回発行（改選時には、臨時号を発行）

### 視察の内容

広報、広聴改革に積極的に取り組まれ、説明をしていただいた議員の皆さまは、バイタリティーに溢れていた。我々御殿場市議会の為に議会事務局職員が「御殿場PR動画」を作成し迎えて下さった。エネルギーで、町の勢いを感じた。

通年議会制・日曜議会・議会映像ライブ配信・町内全14地区での議会報告会・夏休み中の議場開放・小学校への出前授業・議会インターシップ受け入れ、議会ICT化の推進、議会映像インターネット配信、ギカイだより改革、広報キッズモデルの採用等多彩な取り組みをされていた。

#### ★「議会傍聴規則変更について」

児童・乳幼児同伴の傍聴を可能にしたこと、スマホ・タブレットの持込を自由にしたこと、写真撮影や録音が自由にできるようにしたこと、キッズコーナーを設置したことなどには関心を持った。令和5年度から夏季において議場を自習室として一般開放された。

#### ★「議会報告会」

主に予算についての報告をされているようで、町民から出された意見に対して当局から返答をもらい、議会は町民に同調している様子が伺えた。それに対して町民との意見交換会は、事前に話し合うテーマを決めており、町民から出された意見に対して議会は当局に同調しているようであった。

#### ★「開成町議会だより」

一人でも多くの町民に手に取ってもらうことを目指し毎号ごとにデザインや構成に変化を加えるなど、読み手の興味を引きつける工夫がなされています。これは、議会活動への関心を高めるうえで非常に効果的な手法だと感じました。

令和3年8月から、議会広報紙はタブロイド版に変更し、レイアウトも議員で考えていることに感銘を受けた。

### ★「議会独自のウェブサイトを開設」

こちらも「見やすさ・わかりやすさ・探しやすさ」を目標に多様な動画を取り入れ、「読む」から「見る」とし、ウェブサイト頑張っている様子が良く分かった。結果、若い方々の関心度が向上していることは大変に評価できると思う。第一印象のインパクトを重視したデザインによって町民の関心を引きつけるとともに、サイト内の構成もクリック数を最小限に抑えて情報にアクセスできるよう工夫されており、利便性の高さが際立っています。

### 考 察

★開成町では、夏休み期間中に議場解放をして中学生以上に活用されていたが、このような庁舎施設の有効利活用は「開かれた議会」として有効であると考えます。

★「御殿場市議会だよりの今後について」本市においても、紙媒体やウェブサイトも充実させることは当然必要ではあるが、「読む」から「魅せる」への改革を考えたい。これは、市民と議会の間にある“壁”や“距離”を取り払うことだと、今回の視察を通じて学んだ。

「かいせい町民フェスタへの参加」「小学生への出前授業」は議員が住民にとって身近に感じられる議会への変革となっていると感じた。

「小学生への出前授業」は議員が市民にとって身近に感じられる議会への変革ともなる。今後、箱根町と同様に「ウェブ会議の導入」「議場でのスマホ使用や撮影の自由」についても、検討課題としたいとの意見があった。

今回の先進事例を参考に広報・広聴活動の取組を進めていくことで、議会を知る機会の創出に寄与し、ひいては開かれた議会の実現につながる。

